

平成28年度 全国学力・学習状況調査
— 鈴鹿市の質問紙調査結果概要 —



平成28年10月

鈴鹿市教育委員会事務局教育指導課

目 次

1	学びの質	
	(1) 学習状況・指導方法	1
	(2) 言語活動	5
	(3) 探究的な学習	10
	(4) 読書活動	13
2	家庭学習	15
3	教員の取組・研修	19
4	学校生活	25
5	基本的な生活習慣・家庭生活	27
6	家族・地域・社会とのかかわり	29
7	自尊意識・将来に関する意識	33
8	規範意識	35
◆	質問紙調査 課題一覧（小学校）	36
◆	質問紙調査 課題一覧（中学校）	38

本稿の見方

- * 質問文は、平成 28 年度調査を掲載。平成 26, 27 年度とわずかに異なる文言の質問については、同質問と捉え、データを記載。
- * 肯定的回答とは、選択肢のうち「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」（または、それに類する選択肢）と回答したそれぞれの割合（小数点第 2 位四捨五入）の合計を指す。
- * 課題とみなした質問項目について、各表の平成 28 年度の鈴鹿市の結果を で囲む。
※肯定的回答の割合が 80%未満か、80%以上であっても全国平均より 5%以上下回るものについて課題が大きいとみなす。
質問によっては、実態を把握するにとどめ、課題として取り上げなかった項目もある。
- * 児童・生徒質問紙と学校質問紙の両方の結果を合わせ見て、校種別に課題を記載。

1 学びの質

(1) 学習状況・指導方法

※肯定的回答の割合が 80%未満か、80%以上であっても全国平均より 5%以上下回るものについて課題が大きいとみなす。

質問紙調査結果からみえる課題

<小学校>

- 授業の最後に学習内容を振り返る活動を取り入れること
- 授業の最後に学習内容を振り返る活動に対する児童と教師の認識の差
- 課題に対して、自ら考え、自分から取り組むこと
- 習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善や工夫
- 児童自身が伸びを把握できるような評価を行うこと
- 特別支援教育の視点に立った児童の特性に応じた指導上の工夫
- 道徳の時間において、児童自らが考え、話し合う指導

<中学校>

- 授業の最後に学習内容を振り返る活動を取り入れること
- 授業の最後に学習内容を振り返る活動に対する生徒と教師の認識の差
- 授業で扱うノートに、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書くこと
- 課題に対して、自ら考え、自分から取り組むこと
- 「先生が授業やテストで間違えたところや理解していないところを分かるまで教えてくれる」と答える生徒の割合
- 習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善や工夫
- 生徒自身が伸びを把握できるような評価を行うこと
- 道徳の時間において、生徒自らが考え、話し合う指導

小学校

児童質問紙

表 1 児童の「学習状況・指導方法」に関する質問における肯定的回答の割合 (%)

H28 質問 番号	質 問	H26 鈴鹿市	H27 鈴鹿市	H28 鈴鹿市	H28 全国 (公立)	H28 全国 平均 との差
53	5年生までに受けた授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか	77.0	82.6	87.9	87.6	○

54	5年生までに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか	69.4	69.2	72.8	76.1	△
55	5年生までに受けた授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていたと思いますか	—	82.8	86.8	87.9	△
47	5年生までに受けた授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思いますか 【新規】	—	—	75.8	77.8	△
60	授業の中で分からないことがあったら、どうすることが多いですか （※「そのままにしておく」以外）	96.1	94.6	95.0	94.2	○
33	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてください 【新規】	—	—	87.5	84.8	○
56	5年生までに受けた道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思いますか 【新規】	—	—	75.3	77.6	△

※全国平均との差 ▲ $\leq -5 < \Delta < 0 \leq 0 < +5 \leq \odot$

学校質問紙

表2 「学習状況・指導方法」に関する質問における肯定的回答の割合 (%)

H28 質問 番号	質 問	H26 鈴鹿市	H27 鈴鹿市	H28 鈴鹿市	H28 全国 (公立)	H28 全国 平均 との差
36	前年度までに、授業の中で目標（めあて・ねらい）を示す活動を計画的に取り入れましたか	96.7	100	100	98.8	○
37	前年度までに、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れましたか	80.0	90.0	96.7	94.9	○
41	前年度までに、授業で扱うノートに、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書くように指導しましたか	—	90.0	93.3	96.4	△
35	前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか 【新規】	—	—	83.4	90.1	▲
51	前年度までに、学習規律（私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど）の維持を徹底しましたか	96.7	96.7	100	96.6	○
54	前年度までに、国語や算数において、論述やレポートの作成、発表、グループでの話し合い、作品の制作等の多様な活動に取り組ませることにより、ペーパーテストの結果に留まらない、多面的な評価を行いましたか 【新規】	—	—	86.6	91.4	△
55	前年度までに、国語や算数において、一人一人の学びの多様性に応じて、学習の過程における形成的な評価を行い、児童の資質・能力がどのように伸びているかを、児童自身が把握できるような評価を行いましたか 【新規】	—	—	63.4	76.1	▲

78	学校の教員は、特別支援教育について理解し、前年度までに、児童の特性に応じた指導上の工夫(板書や説明の仕方、教材の工夫など)を行いましたか	86.7	93.3	83.3	89.4	▲
50	前年度までに、道徳の時間において、児童自らが考え、話し合う指導をしましたか 【新規】	—	—	73.3	90.5	▲

※全国平均との差 ▲ $\leq -5 < \Delta < 0 \leq 0 < +5 \leq \odot$

中学校

生徒質問紙

表3 生徒の「学習状況・指導方法」に関する質問における肯定的回答の割合 (%)

H28 質問 番号	質 問	H26 鈴鹿市	H27 鈴鹿市	H28 鈴鹿市	H28 全国 (公立)	H28 全国 平均 との差
53	1,2年生のときに受けた授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか	67.8	75.9	85.2	84.9	○
54	1,2年生のときに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか	54.5	56.6	69.6	63.1	◎
55	1,2年生のときに受けた授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていたと思いますか	—	67.5	72.0	76.8	△
47	1,2年生のときに受けた授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思いますか 【新規】	—	—	74.7	73.8	○
60	授業の中で分からないことがあったら、どうすることが多いですか (※「そのままにしておく」以外)	92.0	92.3	90.5	89.1	○
33	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれますか 【新規】	—	—	75.5	74.1	○
56	1,2年生のときに受けた道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思いますか 【新規】	—	—	69.2	74.1	△

※全国平均との差 ▲ $\leq -5 < \Delta < 0 \leq 0 < +5 \leq \odot$

学校質問紙

表4 「学習状況・指導方法」に関する質問における肯定的回答の割合 (%)

H28 質問 番号	質 問	H26 鈴鹿市	H27 鈴鹿市	H28 鈴鹿市	H28 全国 (公立)	H28 全国 平均 との差
36	前年度までに、授業の中で目標（めあて・ねらい）を示す活動を計画的に取り入れましたか	100	70.0	100	97.8	○
37	前年度までに、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れましたか	100	90.0	90.0	93.0	△
41	前年度までに、授業で扱うノートに、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書くように指導しましたか 【新規】	—	—	80.0	88.9	▲
35	前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか 【新規】	—	—	80.0	88.6	▲
51	前年度までに、学習規律（私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど）の維持を徹底しましたか	90.0	100	100	97.9	○
54	前年度までに、国語や数学において、論述やレポートの作成、発表、グループでの話し合い、作品の制作等の多様な活動に取り組みさせることにより、ペーパーテストの結果に留まらない、多面的な評価を行いましたか 【新規】	—	—	90.0	86.9	○
55	前年度までに、国語や数学において、一人一人の学びの多様性に応じて、学習の過程における形成的な評価を行い、生徒の資質・能力がどのように伸びているかを、生徒自身が把握できるような評価を行いましたか 【新規】	—	—	60.0	73.4	▲
77	学校の教員は、特別支援教育について理解し、前年度までに、生徒の特性に応じた指導上の工夫（板書や説明の仕方、教材の工夫など）を行いましたか	90.0	100	90.0	89.1	○
50	前年度までに、道徳の時間において、生徒自らが考え、話し合う指導をしましたか 【新規】	—	—	70.0	88.8	▲

※全国平均との差 ▲ $\leq -5 < \Delta < 0 \leq \circ < +5 \leq \odot$

(2) 言語活動

※肯定的回答の割合が 80%未満か、80%以上であっても全国平均より 5%以上下回るものについて課題が大きいとみなす。

質問紙調査結果からみえる課題

<小学校>

- 友達の前で自分の考えや意見を発表すること
- 学級やグループの中で、課題を立てて、解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの指導
- 学級の友達に対して、話し合う内容を理解して相手の考えを最後まで聞き、自分の考えを伝えること
- 自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表すること
- 400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くこと
- 自分の考えを他の人に説明したり、文章を書いたりすること
- 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすること
- 言語活動の実施状況や課題について、全教職員で話し合い、検討すること

<中学校>

- 友達の前で自分の考えや意見を発表すること
- 学級やグループの中で、課題を立てて、解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの指導
- 学級の友達に対して、話し合う内容を理解して相手の考えを最後まで聞き、自分の考えを伝えること
- 自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表すること
- 400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くこと
- 自分の考えを他の人に説明したり、文章を書いたりすること
- 生徒の間に話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすること

小学校

児童質問紙

表 5 児童の「言語活動」に関する質問における肯定的回答の割合 (%)

H28 質問 番号	質 問	H26 鈴鹿市	H27 鈴鹿市	H28 鈴鹿市	H28 全国 (公立)	H28 全国 平均 との差
7	友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか	51.3	53.0	56.3	51.7	○
8	友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか	92.7	92.3	90.9	92.7	△
48	5年生までに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか	84.4	86.4	86.9	85.1	○
49	5年生までに受けた授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか	84.7	82.5	83.2	83.4	△
50	5年生までに受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか	—	68.4	71.4	75.7	△
51	5年生までに受けた授業で、学級の友達との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていたと思いますか 【新規】	—	—	74.5	77.1	△
52	5年生までに授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか 【新規】	—	—	62.5	64.2	△
57	400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか (※「難しいと思わない」「どちらかといえば難しいと思わない」)	27.9	31.9	32.4	39.3	▲
58	学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか (※「難しいと思わない」「どちらかといえば難しいと思わない」)	39.3	40.0	39.8	45.0	▲
59	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	65.8	64.5	66.8	68.3	△

※全国平均との差 ▲ $\leq -5 < \Delta < 0 \leq \circ < +5 \leq \circ$

学校質問紙

表6 「言語活動」に関する質問における肯定的回答の割合 (%)

H28 質問 番号	質 問	H26 鈴鹿市	H27 鈴鹿市	H28 鈴鹿市	H28 全国 (公立)	H28 全国 平均 との差
17	学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか	56.7	60.0	60.0	74.6	▲
18	学級やグループでの話し合いなどの活動で、相手の考えを最後まで聞くことができていると思いますか	73.4	83.4	90.0	85.8	○
19	学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	46.7	66.6	60.0	69.2	▲
29	指導計画について、言語活動に重点を置いて作成していますか	83.3	96.7	90.0	93.8	△
38	前年度までに、各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付けましたか	83.4	80.0	93.4	92.8	○
39	前年度までに、様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか	96.6	100	100	94.8	◎
40	前年度までに、発言や活動の時間を確保して授業を進めましたか	96.7	100	100	97.7	○
42	前年度までに、学級やグループで話し合う活動を授業などで行いましたか	96.7	96.6	100	96.5	○
44	前年度までに、授業において、児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか	—	63.3	63.4	80.1	▲
112	学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしていますか	96.7	86.6	83.3	90.8	▲
113	言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいますか	83.4	86.7	90.0	91.7	△

※全国平均との差 ▲ $\leq -5 < \Delta < 0 \leq \circ < +5 \leq \odot$

中学校

生徒質問紙

表7 生徒の「言語活動」に関する質問における肯定的回答の割合 (%)

H28 質問 番号	質 問	H26 鈴鹿市	H27 鈴鹿市	H28 鈴鹿市	H28 全国 (公立)	H28 全国 平均 との差
7	友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか	55.6	53.5	54.0	50.2	○

8	友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか	93.4	92.9	92.9	93.0	△
48	1,2年生のときに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか	87.4	89.2	87.7	84.1	○
49	1,2年生のときに受けた授業では、生徒の間に話し合う活動をよく行っていたと思いますか	82.9	80.6	80.5	77.8	○
50	1,2年生のときに受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか	—	64.4	68.3	69.3	△
51	1,2年生のときに受けた授業で、生徒の間に話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていたと思いますか 【新規】	—	—	70.8	72.4	△
52	1,2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか 【新規】	—	—	55.5	57.7	△
57	400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか (※「難しいと思わない」「どちらかといえば難しいと思わない」)	28.5	27.7	33.7	37.0	△
58	学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか (※「難しいと思わない」「どちらかといえば難しいと思わない」)	31.4	31.5	33.8	37.0	△
59	生徒の間に話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	66.2	61.8	63.9	64.8	△

※全国平均との差 ▲ ≤ -5 < △ < 0 ≤ ○ < +5 ≤ ◎

学校質問紙

表8 「言語活動」に関する質問における肯定的回答の割合 (%)

H28 質問 番号	質 問	H26 鈴鹿市	H27 鈴鹿市	H28 鈴鹿市	H28 全国 (公立)	H28 全国 平均 との差
17	学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか	60.0	60.0	90.0	73.2	◎
18	学級やグループでの話し合いなどの活動で、相手の考えを最後まで聞くことができていると思いますか	80.0	80.0	100	88.3	◎
19	学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	60.0	60.0	90.0	70.5	◎

29	指導計画について、言語活動に重点を置いて作成していますか	80.0	90.0	100	90.2	◎
38	前年度までに、各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付けましたか	80.0	70.0	100	88.9	◎
39	前年度までに、様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか	80.0	90.0	100	93.3	◎
40	前年度までに、発言や活動の時間を確保して授業を進めましたか	80.0	100	100	95.9	○
42	前年度までに、学級やグループで話し合う活動を授業などで行いましたか	80.0	100	100	92.9	◎
44	前年度までに、授業において、生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか	—	50.0	50.0	72.6	▲
110	学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしていますか	80.0	80.0	90.0	81.5	◎
111	言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいますか	50.0	90.0	90.0	88.3	○

※全国平均との差 ▲ $-5 < \Delta < 0$ ○ $0 < +5 \leq$ ◎

(3) 探究的な学習

※肯定的回答の割合が 80%未満か、80%以上であっても全国平均より 5%以上下回るものについて課題が大きいとみなす。

質問紙調査結果からみえる課題

<小学校>

- 「総合的な学習の時間」の学習が好きな児童の割合
- 地域や社会で起こっている問題や出来事を学習の題材として取り扱うこと
- 「総合的な学習の時間」における、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導
- 本やインターネットなどを使った資料の調べ方の指導
- 資料を使って発表する指導
- コンピュータ等の情報通信技術を活用して、協働学習や課題発見・解決型の学習を行うこと

<中学校>

- 「総合的な学習の時間」の学習が好きな生徒の割合
- 「総合的な学習の時間」の授業で学習したことの有用感
- 地域や社会で起こっている問題や出来事を学習の題材として取り扱うこと
- 「総合的な学習の時間」における、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導
- 本やインターネットなどを使った資料の調べ方の指導
- 図書館資料を活用した授業を計画的に行うこと
- コンピュータ等の情報通信技術を活用して、協働学習や課題発見・解決型の学習を行うこと

小学校

児童質問紙

表 9 児童の「探究的な学習」に関する質問における肯定的回答の割合 (%)

H28 質問 番号	質 問	H26 鈴鹿市	H27 鈴鹿市	H28 鈴鹿市	H28 全国 (公立)	H28 全国 平均 との差
44	「総合的な学習の時間」の勉強は好きですか 【H26, 27 調査なし】	—	—	72.8	77.2	△

45	「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つと思いますか	86.1	83.4	82.1	83.2	△
46	「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	52.8	52.4	53.8	65.4	▲

※全国平均との差 ▲ $\leq -5 < \Delta < 0 \leq \circ < +5 \leq \odot$

学校質問紙

表 10 「探究的な学習」に関する質問における肯定的回答の割合 (%)

H28 質問 番号	質 問	H26 鈴鹿市	H27 鈴鹿市	H28 鈴鹿市	H28 全国 (公立)	H28 全国 平均 との差
52	前年度に、教科や総合的な学習の時間、あるいは朝や帰りの会などにおいて、地域や社会で起こっている問題や出来事を学習の題材として取り扱いましたか	73.3	83.3	70.0	78.1	▲
43	前年度までに、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしましたか	70.0	66.7	56.6	83.7	▲
45	前年度までに、本やインターネットなどを使った資料の調べ方が身に付くよう指導しましたか	80.0	90.0	80.0	91.9	▲
46	前年度までに、資料を使って発表ができるよう指導しましたか	66.7	80.0	83.3	90.5	▲
47	前年度までに、自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をしましたか	83.3	86.7	100	93.9	◎
24	前年度に、図書館資料を活用した授業を計画的に行いましたか (※学期に数回程度以上実施)	80.0	83.4	83.3	83.0	○
56	前年度までに、コンピュータ等の情報通信技術(パソコン(タブレット端末を含む)、電子黒板、実物投影機、プロジェクター、インターネットなどを指す)を活用して、子供同士が教え合い学び合うなどの学習(協働学習)や課題発見・解決型の学習指導を行いましたか	43.3	43.4	50.0	68.4	▲

※全国平均との差 ▲ $\leq -5 < \Delta < 0 \leq \circ < +5 \leq \odot$

中学校

生徒質問紙

表 11 生徒の「探究的な学習」に関する質問における肯定的回答の割合 (%)

H28 質問 番号	質 問	H26 鈴鹿市	H27 鈴鹿市	H28 鈴鹿市	H28 全国 (公立)	H28 全国 平均 との差
44	「総合的な学習の時間」の勉強は好きですか 【H26, 27 調査なし】	—	—	59.2	68.3	▲

45	「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つと思いますか	68.8	70.5	67.4	72.8	▲
46	「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	44.5	43.2	44.9	57.7	▲

※全国平均との差 ▲ $\leq -5 < \Delta < 0 \leq 0 < +5 \leq \odot$

学校質問紙

表 12 「探究的な学習」に関する質問における肯定的回答の割合 (%)

H28 質問 番号	質 問	H26 鈴鹿市	H27 鈴鹿市	H28 鈴鹿市	H28 全国 (公立)	H28 全国 平均 との差
52	前年度に、教科や総合的な学習の時間、あるいは朝や帰りの会などにおいて、地域や社会で起こっている問題や出来事を学習の題材として取り扱いましたか	20.0	60.0	50.0	70.7	▲
43	前年度までに、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしましたか	40.0	50.0	70.0	83.0	▲
45	前年度までに、本やインターネットなどを使った資料の調べ方が身に付くよう指導しましたか	40.0	30.0	40.0	82.2	▲
46	前年度までに、資料を使って発表ができるよう指導しましたか	40.0	40.0	80.0	84.8	△
47	前年度までに、自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をしましたか	50.0	70.0	90.0	91.3	△
24	前年度に、図書館資料を活用した授業を計画的に行いましたか (※学期に数回程度以上実施)	40.0	30.0	20.0	46.5	▲
56	前年度までに、コンピュータ等の情報通信技術(パソコン(タブレット端末を含む)、電子黒板、実物投影機、プロジェクター、インターネットなどを指す)を活用して、子供同士が教え合い学び合うなどの学習(協働学習)や課題発見・解決型の学習指導を行いましたか	10.0	20.0	40.0	56.7	▲

※全国平均との差 ▲ $\leq -5 < \Delta < 0 \leq 0 < +5 \leq \odot$

(4) 読書活動

※肯定的回答の割合が 80%未満か、80%以上であっても全国平均より 5%以上下回るものについて課題が大きいとみなす。

質問紙調査結果からみえる課題

<小学校>

- 授業時間以外での読書時間
- 学校図書館や地域の図書館の利用

<中学校>

- 授業時間以外での読書時間
- 学校図書館や地域の図書館の利用

小学校

児童質問紙

表 13 児童の「読書活動」に関する質問における肯定的回答の割合 (%)

H28 質問 番号	質 問	H26 鈴鹿市	H27 鈴鹿市	H28 鈴鹿市	H28 全国 (公立)	H28 全国 平均 との差
17	学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く) (※30分以上)	34.6	33.8	32.0	36.5	△
18	昼休みや放課後、学校が休みの日に、本(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか (※週に1回程度以上)	16.0	14.1	11.8	16.4	△

※全国平均との差 ▲ $\leq -5 < \Delta < 0 \leq \circ < +5 \leq \odot$

中学校

生徒質問紙

表 14 生徒の「読書活動」に関する質問における肯定的回答の割合 (%)

H28 質問 番号	質 問	H26 鈴鹿市	H27 鈴鹿市	H28 鈴鹿市	H28 全国 (公立)	H28 全国 平均 との差
17	学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く) (※30分以上)	27.4	26.2	22.8	28.2	▲
18	昼休みや放課後、学校が休みの日に、本(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか (※週に1回程度以上)	5.4	5.3	4.0	7.6	△

※全国平均との差 ▲ $-5 < \Delta < 0$ ○ $0 < +5 \leq$ ◎

2 家庭学習

※肯定的回答の割合が 80%未満か、80%以上であっても全国平均より 5%以上下回るものについて課題が大きいとみなす。

質問紙調査結果からみえる課題

<小学校>

- 休日の家庭学習の時間
- 家で、自分で計画を立てて勉強をすることや、予習・復習をすること
- 家での自学自習で、教科書を使うこと
- 調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えること

<中学校>

- 平日や休日の家庭学習の時間
- 家で、自分で計画を立てて勉強をすることや、予習・復習をすること
- 家での自学自習で、教科書を使うこと
- 保護者に対する、家庭学習を促す働きかけ

※ 児童・生徒質問紙 16 は、実態を把握するにとどめる。

小学校

児童質問紙

表 15 児童の「家庭学習」に関する質問における肯定的回答の割合

(%)

H28 質問 番号	質 問	H26 鈴鹿市	H27 鈴鹿市	H28 鈴鹿市	H28 全国 (公立)	H28 全国 平均 との差
14	学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む） （※30分以上）	86.3	85.7	87.3	87.9	△
15	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む） （※1時間以上）	49.0	45.1	47.3	57.0	▲
16	学習塾（家庭教師を含む）で勉強をしていますか	51.1	49.8	48.1	45.9	○
21	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	61.2	61.4	60.2	62.2	△

22	家で、学校の宿題をしていますか	97.1	97.6	97.1	97.0	○
23	家で、学校の授業の予習をしていますか	45.9	43.7	44.9	43.3	○
24	家で、学校の授業の復習をしていますか	52.8	52.0	52.0	55.2	△
25	家で、予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習していますか 【新規】	—	—	61.0	64.6	△

※全国平均との差 ▲ $\leq -5 < \Delta < 0 \leq \circ < +5 \leq \ominus$

学校質問紙

表 16 「家庭学習の指導」に関する質問における肯定的回答の割合 (%)

H28 質問 番号	質 問	H26 鈴鹿市	H27 鈴鹿市	H28 鈴鹿市	H28 全国 (公立)	H28 全国 平均 との差
92	前年度までに、国語の指導として、家庭学習の課題(宿題)を与えましたか	100	100	100	99.4	○
93	前年度までに、国語の指導として、児童に与えた家庭学習の課題(長期休業期間中の課題を除く)について、評価・指導しましたか	100	100	96.7	98.1	△
94	前年度までに、算数の指導として、家庭学習の課題(宿題)を与えましたか	100	100	100	99.6	○
95	前年度までに、算数の指導として、児童に与えた家庭学習の課題(長期休業期間中の課題を除く)について、評価・指導しましたか	100	100	96.6	98.3	△
96	前年度までに、保護者に対して児童の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか (国語/算数共通)	100	100	93.3	97.3	△
97	前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか (国語/算数共通)	96.7	93.3	93.4	88.8	○
98	前年度までに、家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えましたか (国語/算数共通)	76.7	80.0	70.0	82.1	▲
99	前年度までに、家庭学習の取組として、児童に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにしましたか (国語/算数共通)	90.0	93.4	93.4	91.9	○
100	前年度までに、予習・復習や宿題をさせる際に、教科書の活用(自宅等で教科書を読むなどを含む)を促しましたか (国語/算数共通) 【新規】	—	—	90.0	93.2	△

※全国平均との差 ▲ $\leq -5 < \Delta < 0 \leq \circ < +5 \leq \ominus$

中学校

生徒質問紙

表 17 生徒の「家庭学習の指導」に関する質問における肯定的回答の割合 (%)

H28 質問 番号	質 問	H26 鈴鹿市	H27 鈴鹿市	H28 鈴鹿市	H28 全国 (公立)	H28 全国 平均 との差
14	学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む） （※1時間以上）	60.7	60.8	62.9	67.9	▲
15	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む） （※2時間以上）	28.1	26.7	26.1	40.1	▲
16	学習塾（家庭教師を含む）で勉強をしていますか	64.8	65.3	66.4	61.0	◎
21	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	48.9	52.2	50.2	48.4	○
22	家で、学校の宿題をしていますか	87.7	90.1	91.3	90.1	○
23	家で、学校の授業の予習をしていますか	31.9	30.4	30.3	34.2	△
24	家で、学校の授業の復習をしていますか	44.9	47.1	47.7	51.0	△
25	家で、予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習していますか 【新規】	—	—	66.8	68.2	△

※全国平均との差 ▲ $\leq -5 < \Delta < 0 \leq \circ < +5 \leq \odot$

学校質問紙

表 18 「家庭学習の指導」に関する質問における肯定的回答の割合 (%)

H28 質問 番号	質 問	H26 鈴鹿市	H27 鈴鹿市	H28 鈴鹿市	H28 全国 (公立)	H28 全国 平均 との差
90	前年度までに、国語の指導として、家庭学習の課題（宿題）を与えましたか	100	90.0	100	92.6	◎
91	前年度までに、国語の指導として、生徒に与えた家庭学習の課題（長期休業期間中の課題を除く）について、評価・指導しましたか	80.0	100	100	94.5	◎
92	前年度までに、数学の指導として、家庭学習の課題（宿題）を与えましたか	100	100	100	94.8	◎

93	前年度までに、数学の指導として、生徒に与えた家庭学習の課題（長期休業期間中の課題を除く）について、評価・指導しましたか	90.0	100	100	94.9	◎
94	前年度までに、保護者に対して生徒の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか（国語/数学 共通）	70.0	60.0	80.0	87.5	▲
95	前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか（国語/数学 共通）	60.0	50.0	80.0	82.1	△
96	前年度までに、家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えましたか（国語/数学 共通）	50.0	20.0	80.0	68.8	◎
97	前年度までに、家庭学習の取組として、生徒に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにしましたか（国語/数学 共通）	60.0	60.0	90.0	87.8	○
98	前年度までに、予習・復習や宿題をさせる際に、教科書の活用（自宅等で教科書を読むなどを含む）を促しましたか（国語/数学共通）【新規】	—	—	80.0	87.4	▲

※全国平均との差 ▲ $-5 < \Delta < 0$ ≤ 0 < +5 ≤ ◎

3 教員の取組・研修

※肯定的回答の割合が80%未満か、80%以上であつても全国平均より5%以上下回るものについて課題が大きいとみなす。

質問紙調査結果からみえる課題

<小学校>

- 全国学力・学習状況調査の自校の分析結果を学校全体で活用すること
- 教育課程について、PDCAサイクルを確立すること
- 近隣の中学校と連携すること（教育目標の共有、教員の合同研修や交流、教育課程に関する共通の取組、全国学力・学習状況調査の分析結果の共有）
- 専門性を高める教科や領域等を決めて、校外の授業研究に定期的、継続的に参加すること
- 児童自らが課題設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動について学ぶ校内研修
- コンピュータ等の情報通信技術を活用して協働学習や課題発見・解決型の学習指導を学ぶ校内研修

<中学校>

- 全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における学力調査の結果と併せて分析し、教育指導の改善や指導計画に反映させること
- 地域等の外部の資源を組み合わせ、指導計画の作成を行うこと
- 近隣の小学校と連携すること（教育目標の共有、教員の交流、教育課程に関する共通の取組、全国学力・学習状況調査の分析結果の共有）
- 教員が、校外の授業研究の場に定期的、継続的に参加すること
- コンピュータ等の情報通信技術を活用して協働学習や課題発見・解決型の学習指導を学ぶ校内研修

※ 小学校 学校質問紙 25, 26, 27 中学校 学校質問紙 25, 26, 27, 107 は、実態を把握するにとどめ、課題とはみなさない。

小学校

学校質問紙

表 19 「教員の取組」に関する質問における肯定的回答の割合 (%)

H28 質問 番号	質 問	H26 鈴鹿市	H27 鈴鹿市	H28 鈴鹿市	H28 全国 (公立)	H28 全国 平均 との差
25	前年度に、放課後を利用した補足的な学習サポートを実施しましたか (※月に数回程度以上)	30.0	43.4	43.3	48.7	▲
26	前年度に、土曜日を利用した補足的な学習サポートを実施しましたか (※年に数回程度以上)	0	10.0	26.6	9.3	◎
27	前年度に、長期休業日を利用した補足的な学習サポートを実施しましたか (※延べ5日以上)	16.6	26.7	30.0	27.6	○
28	指導計画について、知識・技能の活用に重点を置いて作成していますか	76.7	90.0	90.0	90.5	△
59	平成 27 年度全国学力・学習状況調査の自校の結果を分析し、学校全体で成果や課題を共有しましたか	96.7	100	100	98.7	○
60	平成 27 年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか	96.7	100	86.7	97.0	▲
61	平成 27 年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか(学校のホームページや、学校だより等への掲載、保護者会等での説明を含む)	90.0	100	100	90.9	◎
62	平成 27 年度全国学力・学習状況調査や学校評価の自校の結果等を踏まえた学力向上のための取組について、保護者や地域の人たちに対して働きかけを行いましたか	86.6	96.7	93.3	90.2	○
63	全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか	76.7	96.7	96.6	93.2	○
30	指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していますか 【新規】	—	—	90.0	85.8	○
31	教育課程表(全体計画や年間指導計画等)について、各教科等の教育目標や内容の相互関連が分かるように作成していますか 【新規】	—	—	90.0	85.6	○
32	教育課程表(全体計画や年間指導計画等)について、指導事項の系統性が分かるように作成していますか 【新規】	—	—	80.0	84.6	△

33	児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか 【新規】	—	—	80.0	88.5	▲
34	指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか 【新規】	—	—	100	91.4	◎
111	学習指導と学習評価の計画の作成に当たっては、教職員同士が協力し合っていますか	96.7	100	96.7	95.3	○
114	学校全体の学力傾向や課題について、全教職員の間で共有していますか	100	100	100	98.6	○
115	学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいますか	96.7	100	96.7	97.9	△
116	校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか (※週に2～3日程度以上)	96.6	100	100	94.2	◎
79	前年度までに、近隣等の中学校と、教育目標を共有する取組を行いましたか 【新規】	—	—	56.7	54.5	○
80	前年度までに近隣等の中学校と、授業研究を行うなど、合同して研修を行いましたか 【新規】	—	—	50.0	62.5	▲
81	前年度までに近隣等の中学校と、意見を交換し合うなど、教員同士の交流を行いましたか 【新規】	—	—	66.6	80.0	▲
82	前年度までに近隣等の中学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか 【新規】	—	—	33.3	47.1	▲
83	平成27年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の中学校と成果や課題を共有しましたか 【新規】	—	—	50.0	49.5	○

※全国平均との差 ▲ $\leq -5 < \Delta < 0 \leq \circ < +5 \leq \odot$

表 20 「教員の研修」に関する質問における肯定的回答の割合 (%)

H28 質問 番号	質 問	H26 鈴鹿市	H27 鈴鹿市	H28 鈴鹿市	H28 全国 (公立)	H28 全国 平均 との差
101	校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行っていますか 【新規】	—	—	100	99.2	○
102	学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っていますか	90.0	100	100	93.0	◎
103	都道府県や市町村の指導主事や大学教員等の専門家が、校内研修の指導のために定期的に来校していますか 【新規】	—	—	93.3	72.8	◎
104	模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っていますか	93.4	100	93.3	92.8	○

105	教員が、他校や外部の研修機関などの学校外での研修に積極的に参加できるようにしていますか	83.3	96.7	96.6	96.2	○
106	個々の教員が、自らの専門性を高めていこうとしている教科・領域等を決めており、校外の教員同士の授業研究の場に定期的・継続的に参加していますか 【新規】	—	—	73.3	83.0	▲
107	児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか 【新規】	—	—	53.3	72.9	▲
108	コンピュータ等の情報通信技術を活用して、子供同士が教え合い学び合うなどの学習（協働学習）や課題発見・解決型の学習指導を学ぶ校内研修を行っていますか 【新規】	—	—	36.7	50.0	▲
109	授業研究を伴う校内研修を前年度に何回実施しましたか (※年間5～6回以上)	93.3	93.4	96.7	87.7	◎
110	教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させていますか	96.7	96.7	93.3	95.9	△

※全国平均との差 ▲ $-5 < \Delta < 0$ ○ $0 < +5 \leq$ ◎

中学校

学校質問紙

表 21 「教員の取組」に関する質問における肯定的回答の割合 (%)

H28 質問 番号	質 問	H26 鈴鹿市	H27 鈴鹿市	H28 鈴鹿市	H28 全国 (公立)	H28 全国 平均 との差
25	前年度に、放課後を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか (※月に数回程度以上)	40.0	40.0	40.0	51.1	▲
26	前年度に、土曜日を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか (※年に数回程度以上)	10.0	50.0	40.0	15.4	◎
27	前年度に、長期休業日を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか (※延べ5日以上)	90.0	70.0	70.0	55.5	◎
28	指導計画について、知識・技能の活用重点を置いて作成していますか	60.0	90.0	100	91.2	◎
59	平成27年度全国学力・学習状況調査の自校の結果を分析し、学校全体で成果や課題を共有しましたか	100	100	100	97.4	○
60	平成27年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか	100	100	100	94.8	◎

61	平成 27 年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか(学校のホームページや、学校だより等への掲載、保護者会等での説明を含む)	100	100	100	86.9	◎
62	平成 27 年度全国学力・学習状況調査や学校評価の自校の結果等を踏まえた学力向上のための取組について、保護者や地域の人たちに対して働きかけを行いましたか	60.6	100	100	83.8	◎
63	全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか	80.0	90.0	80.0	90.0	▲
30	指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していますか 【新規】	—	—	90.0	78.0	◎
31	教育課程表(全体計画や年間指導計画等)について、各教科等の教育目標や内容の相互関連が分かるように作成していますか 【新規】	—	—	80.0	77.8	○
32	教育課程表(全体計画や年間指導計画等)について、指導事項の系統性が分かるように作成していますか 【新規】	—	—	90.0	85.3	○
33	生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連の PDCA サイクルを確立していますか 【新規】	—	—	90.0	86.3	○
34	指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか 【新規】	—	—	70.0	71.3	△
109	学習指導と学習評価の計画の作成に当たっては、教職員同士が協力し合っていますか	90.0	100	100	93.6	◎
112	学校全体の学力傾向や課題について、全教職員の間で共有していますか	100	100	100	97.9	○
113	学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいますか	100	100	100	96.4	○
114	校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか(※週に2~3日程度以上)	80.0	90.0	100	82.6	◎
78	前年度までに、近隣等の小学校と、教育目標を共有する取組を行いましたか 【新規】	—	—	50.0	61.5	▲
79	前年度までに、近隣等の小学校と、授業研究を行うなど、合同して研修を行いましたか 【新規】	—	—	80.0	72.5	◎
80	前年度までに、近隣等の小学校と、意見を交換し合うなど、教員同士の交流を行いましたか 【新規】	—	—	80.0	85.0	▲
81	前年度までに、近隣等の小学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか 【新規】	—	—	20.0	54.9	▲

82	平成 27 年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の小学校と成果や課題を共有しましたか 【新規】	—	—	40.0	53.9	▲
----	---	---	---	------	------	---

※全国平均との差 ▲ $\leq -5 < \Delta < 0 \leq 0 < +5 \leq \odot$

表 22 「教員の研修」に関する質問における肯定的回答の割合 (%)

H28 質問 番号	質 問	H26 鈴鹿市	H27 鈴鹿市	H28 鈴鹿市	H28 全国 (公立)	H28 全国 平均 との差
99	校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行っていますか 【新規】	—	—	100	97.7	○
100	学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っていますか	90.0	90.0	100	86.0	◎
101	都道府県や市町村の指導主事や大学教員等の専門家が、校内研修の指導のために定期的に来校していますか 【新規】	—	—	100	62.2	◎
102	模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っていますか	100	100	90.0	84.2	◎
103	教員が、他校や外部の研修機関などの学校外での研修に積極的に参加できるようにしていますか	80.0	80.0	100	92.9	◎
104	教員は、校外の教員同士の授業研究の場に定期的・継続的に参加していますか 【新規】	—	—	70.0	77.8	▲
105	生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか 【新規】	—	—	80.0	63.6	◎
106	コンピュータ等の情報通信技術を活用して、子供同士が教え合い学び合うなどの学習（協働学習）や課題発見・解決型の学習指導を学ぶ校内研修を行っていますか 【新規】	—	—	50.0	40.8	◎
107	授業研究を伴う校内研修を前年度に何回実施しましたか (※年間 5～6 回以上)	70.0	60.0	50.0	67.4	▲
108	教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させていますか	90.0	90.0	90.0	91.9	△

※全国平均との差 ▲ $\leq -5 < \Delta < 0 \leq 0 < +5 \leq \odot$

4 学校生活

※肯定的回答の割合が 80%未満か、80%以上であっても全国平均より 5%以上下回るものについて課題が大きいとみなす。

質問紙調査結果からみえる課題

<小学校>

- 学級会などの時間に友達同士で話し合っって学級のきまりなどを決めること
- 話し合う場面で、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして意見をまとめること
- 学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマに取り組ませること

<中学校>

- 好きな授業のある生徒の割合
- 学級会などの時間に友達同士で話し合っって学級のきまりなどを決めること
- 話し合う場面で、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして意見をまとめること

小学校

児童質問紙

表 23 児童の「学校生活」に関する質問における肯定的回答の割合 (%)

H28 質問 番号	質 問	H26 鈴鹿市	H27 鈴鹿市	H28 鈴鹿市	H28 全国 (公立)	H28 全国 平均 との差
26	学校に行くのは楽しいと思いますか	88.1	85.1	85.3	86.3	△
27	学校で、友達に会うのは楽しいと思いますか 【H26, 27 調査なし】	—	—	96.6	96.2	○
28	学校で、好きな授業がありますか 【H26, 27 調査なし】	—	—	94.0	93.5	○
29	あなたの学級では、学級会などの時間に友達同士で話し合っって学級のきまりなどを決めていると思いますか	—	72.3	75.8	81.8	▲
30	学級会などの話し合いの活動で、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめていますか 【新規】	—	—	54.2	58.6	△
31	学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか	87.8	83.9	83.9	86.3	△

※全国平均との差 ▲ $\leq -5 < \Delta < 0 \leq \circ < +5 \leq \odot$

学校質問紙

表 24 「教員の研修や取組」に関する質問における肯定的回答の割合 (%)

H28 質問 番号	質 問	H26 鈴鹿市	H27 鈴鹿市	H28 鈴鹿市	H28 全国 (公立)	H28 全国 平均 との差
49	前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか	90.0	86.7	80.0	90.5	▲

※全国平均との差 ▲ $\leq -5 < \Delta < 0 \leq 0 < +5 \leq \odot$

中学校

生徒質問紙

表 25 生徒の「学校生活」に関する質問における肯定的回答の割合 (%)

H28 質問 番号	質 問	H26 鈴鹿市	H27 鈴鹿市	H28 鈴鹿市	H28 全国 (公立)	H28 全国 平均 との差
26	学校に行くのは楽しいと思いますか	84.9	81.9	81.0	81.4	△
27	学校で、友達に会うのは楽しいと思いますか 【H26, 27 調査なし】	—	—	94.8	94.7	○
28	学校で、好きな授業がありますか 【H26, 27 調査なし】	—	—	78.4	79.9	△
29	あなたの学級では、学級会などの時間に友達同士で話し合っ て学級のきまりなどを決めていると思いますか	—	76.4	74.4	78.4	△
30	学級会などの話し合いの活動で、自分とは異なる意見や少数 意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、 意見をまとめていますか 【新規】	—	—	54.0	58.4	△
31	学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかった ことがありますか	86.1	81.5	81.7	84.2	△

※全国平均との差 ▲ $\leq -5 < \Delta < 0 \leq 0 < +5 \leq \odot$

学校質問紙

表 26 「教員の研修や取組」に関する質問における肯定的回答の割合 (%)

H28 質問 番号	質 問	H26 鈴鹿市	H27 鈴鹿市	H28 鈴鹿市	H28 全国 (公立)	H28 全国 平均 との差
49	前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか	60.0	80.0	90.0	85.3	○

※全国平均との差 ▲ $\leq -5 < \Delta < 0 \leq 0 < +5 \leq \odot$

5 基本的な生活習慣・家庭生活

※肯定的回答の割合が80%未満か、80%以上であっても全国平均より5%以上下回るものについて課題が大きいとみなす。

質問紙調査結果からみえる課題

<小学校>

- 1日当たりのテレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりする時間
- 1日当たりのテレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をする時間

<中学校>

- 1日当たりのテレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりする時間
- 1日当たりのテレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をする時間
- 1日当たりの携帯電話やスマートフォンでの通話やメール、インターネットをする時間

※ 児童・生徒質問紙2,10は、実態を把握するにとどめ、課題としては取り上げない。

小学校

児童質問紙

表 27 児童の「基本的な生活習慣や家庭生活」に関する質問における肯定的回答の割合 (%)

H28 質問 番号	質 問	H26 鈴鹿市	H27 鈴鹿市	H28 鈴鹿市	H28 全国 (公立)	H28 全国 平均 との差
1	朝食を毎日食べていますか	95.9	95.1	95.1	95.5	△
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	83.1	79.8	80.1	80.1	○
3	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	92.9	91.3	90.6	90.8	△
10	普段（月～金曜日）、何時ごろに寝ますか （※午後10:00より前）	—	—	53.9	49.6	○

11	普段（月～金曜日），1日当たりどれくらいの時間，テレビやビデオ・DVDを見たり，聞いたりしますか（勉強のためのテレビやビデオ・DVDを見る時間，テレビゲームをする時間は除く）（※2時間より少ない）	43.8	42.6	43.9	42.8	○
12	普段（月～金曜日），1日当たりどれくらいの時間，テレビゲーム（コンピュータゲーム，携帯式のゲーム，携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか（※1時間より少ない）	45.8	44.2	43.1	45.1	△
13	普段（月～金曜日），1日当たりどれくらいの時間，携帯電話やスマートフォンで通話やメール，インターネットをしますか（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く）（※「1時間より少ない」か「持っていない」）	85.4	82.6	81.7	81.5	○

※全国平均との差 ▲ ≤ -5 < Δ < $0 \leq \circ$ < $+5 \leq \odot$

中学校

生徒質問紙

表 28 生徒の「基本的な生活習慣や家庭生活」に関する質問における肯定的回答の割合 (%)

H28 質問 番号	質 問	H26 鈴鹿市	H27 鈴鹿市	H28 鈴鹿市	H28 全国 (公立)	H28 全国 平均 との差
1	朝食を毎日食べていますか	93.8	93.1	93.2	93.3	△
2	毎日，同じくらいの時刻に寝ていますか	78.1	77.0	76.7	75.2	○
3	毎日，同じくらいの時刻に起きていますか	94.1	91.8	92.9	92.3	○
10	普段（月曜日～金曜日），何時ごろに寝ますか（※午後 11:00 より前）【H26, 27 調査なし】	—	—	40.7	36.9	○
11	普段（月～金曜日），1日当たりどれくらいの時間，テレビやビデオ・DVDを見たり，聞いたりしますか（勉強のためのテレビやビデオ・DVDを見る時間，テレビゲームをする時間は除く）（※2時間より少ない）	43.9	42.9	49.5	51.1	△
12	普段（月～金曜日），1日当たりどれくらいの時間，テレビゲーム（コンピュータゲーム，携帯式のゲーム，携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか（※1時間より少ない）	42.3	38.2	42.7	42.9	△
13	普段（月～金曜日），1日当たりどれくらいの時間，携帯電話やスマートフォンで通話やメール，インターネットをしますか（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く）（※「1時間より少ない」か「持っていない」）	49.3	45.1	47.1	51.9	△

※全国平均との差 ▲ ≤ -5 < Δ < $0 \leq \circ$ < $+5 \leq \odot$

6 家族・地域・社会とのかかわり

※肯定的回答の割合が80%未満か、80%以上であっても全国平均より5%以上下回るものについて課題が大きいとみなす。

質問紙調査結果からみえる課題

<小学校>

- 今住んでいる地域の行事に参加すること
- 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心をもつこと
- 地域社会などでボランティア活動に参加すること
- 新聞を読むこと

<中学校>

- 今住んでいる地域の行事に参加すること
- 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心をもつこと
- 地域社会などでボランティア活動に参加すること
- 新聞を読むこと

※ 児童質問紙 19, 小学校質問紙 86, 87, 88 生徒質問紙 19, 20 中学校質問紙 83, 84, 85, 87 は, 実態を把握するにとどめ, 課題としては取り上げない。

小学校

児童質問紙

表 29 児童の「家族・地域・社会とのかかわり」に関する質問における肯定的回答の割合 (%)

H28 質問 番号	質 問	H26 鈴鹿市	H27 鈴鹿市	H28 鈴鹿市	H28 全国 (公立)	H28 全国 平均 との差
19	家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をしますか	83.2	80.2	77.6	79.2	△
20	家の手伝いをしていますか 【H26, 27 調査なし】	—	—	81.9	82.8	△
34	今住んでいる地域の行事に参加していますか	75.1	69.9	69.9	67.9	○

35	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか	63.5	59.8	68.5	70.6	△
36	地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか 【H26, 27 調査なし】	—	—	26.7	36.2	▲
37	新聞を読んでいますか（※週に1回程度以上）	26.4	23.2	22.4	24.0	△
38	テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか（携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含む）	82.8	82.2	84.8	86.4	△

※全国平均との差 ▲ $\leq -5 < \Delta < 0 \leq 0 < +5 \leq \odot$

学校質問紙

表 30 「家族・地域・社会とのかかわり」に関する質問における肯定的回答の割合 (%)

H28 質問 番号	質 問	H26 鈴鹿市	H27 鈴鹿市	H28 鈴鹿市	H28 全国 (公立)	H28 全国 平均 との差
84	前年度までに、地域の人材を外部講師として招聘した授業を行いましたか	86.7	86.7	90.0	82.4	◎
85	前年度までに、ボランティア等による授業サポート（補助）を行いましたか	93.3	83.3	96.7	48.1	◎
86	前年度までに、博物館や科学館、図書館を利用した授業を行いましたか	20.0	33.3	33.3	46.2	▲
87	第5学年までの間に自然の中での集団宿泊活動を行いましたか（※「1泊2日」～「4泊5日以上」行っている）	—	63.3	63.3	93.6	▲
88	職場見学や職場体験活動を行っていますか	33.3	36.7	43.3	45.1	△
89	PTA や地域の人が学校の諸活動（学校の美化など）にボランティアとして参加してくれますか	100	100	100	97.7	○
90	学校支援地域本部などの学校支援ボランティアの仕組みにより、保護者や地域の人が学校における教育活動や様々な活動に参加してくれますか	100	100	100	86.9	◎
91	保護者や地域の人々の学校支援ボランティア活動は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか	96.7	100	100	96.8	○

※全国平均との差 ▲ $\leq -5 < \Delta < 0 \leq 0 < +5 \leq \odot$

中学校

生徒質問紙

表 31 生徒の「家庭・地域・社会とのかかわり」に関する質問における肯定的回答の割合 (%)

H28 質問 番号	質 問	H26 鈴鹿市	H27 鈴鹿市	H28 鈴鹿市	H28 全国 (公立)	H28 全国 平均 との差
19	家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか	75.9	74.0	73.2	74.1	△
20	家の手伝いをしていますか 【H26, 27 調査なし】	—	—	63.4	67.2	△
34	今住んでいる地域の行事に参加していますか	48.0	41.7	41.2	45.2	△
35	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか	55.9	50.5	61.0	65.8	△
36	地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか 【H26, 27 調査なし】	—	—	41.7	48.7	▲
37	新聞を読んでいますか（※週に1回程度以上）	22.0	17.4	17.2	18.3	△
38	テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか（携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含む）	80.5	83.9	85.4	87.4	△

※全国平均との差 ▲ $\leq -5 < \Delta < 0 \leq 0 < +5 \leq \odot$

学校質問紙

表 32 「家庭・地域・社会とのかかわり」に関する質問における肯定的回答の割合 (%)

H28 質問 番号	質 問	H26 鈴鹿市	H27 鈴鹿市	H28 鈴鹿市	H28 全国 (公立)	H28 全国 平均 との差
83	前年度までに、地域の人材を外部講師として招聘した授業を行いましたか	60.0	90.0	70.0	65.1	○
84	前年度までに、ボランティア等による授業サポート（補助）を行いましたか	10.0	50.0	30.0	29.8	○
85	前年度までに、博物館や科学館，図書館を利用した授業を行いましたか	0	10.0	10.0	20.4	▲
86	職場見学や職場体験活動を行っていますか	100	100	100	98.8	○

87	PTA や地域の人が学校の諸活動（学校の美化など）にボランティアとして参加してくれますか	100	90.0	90.0	95.6	▲
88	学校支援地域本部などの学校支援ボランティアの仕組みにより、保護者や地域の人が学校における教育活動や様々な活動に参加してくれますか	90.0	100	100	74.1	◎
89	保護者や地域の人々の学校支援ボランティア活動は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか	90.0	90.0	100	91.0	◎

※全国平均との差 ▲ $\leq -5 < \Delta < 0 \leq \circ < +5 \leq \odot$

7 自尊意識・将来に関する意識

※肯定的回答の割合が 80%未満か、80%以上であっても全国平均より 5%以上下回るものについて課題が大きいとみなす。

質問紙調査結果からみえる課題

<小学校>

- 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦すること
- 自分には、よいところがあると思うこと
- 将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導

<中学校>

- 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦すること
- 自分には、よいところがあると思うこと
- 将来の夢や目標を持つこと
- 教員からよいところを認められていると感じる生徒の割合

小学校

児童質問紙

表 33 児童の「自尊意識等」に関する質問における肯定的回答の割合 (%)

H28 質問 番号	質 問	H26 鈴鹿市	H27 鈴鹿市	H28 鈴鹿市	H28 全国 (公立)	H28 全国 平均 との差
4	ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか	94.9	93.0	94.4	94.4	○
5	難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか	77.0	74.8	75.0	76.1	△
6	自分には、よいところがあると思いますか	77.5	74.0	75.4	76.3	△
9	将来の夢や目標を持っていますか	87.4	84.6	82.3	85.3	△
32	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか 【H27 調査なし】	80.0	—	80.6	82.6	△

※全国平均との差 ▲ $\leq -5 < \Delta < 0 \leq \circ < +5 \leq \odot$

学校質問紙

表 34 「自尊意識等」に関する質問における肯定的回答の割合 (%)

H28 質問 番号	質 問	H26 鈴鹿市	H27 鈴鹿市	H28 鈴鹿市	H28 全国 (公立)	H28 全国 平均 との差
48	前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか	73.4	73.3	60.0	74.6	▲
53	前年度までに、学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見付け、児童に伝えるなど積極的に評価しましたか	96.6	100	96.6	98.4	△

※全国平均との差 ▲ $\leq -5 < \Delta < 0 \leq \circ < +5 \leq \ominus$

中学校

生徒質問紙

表 35 生徒の「自尊意識等」に関する質問における肯定的回答の割合 (%)

H28 質問 番号	質 問	H26 鈴鹿市	H27 鈴鹿市	H28 鈴鹿市	H28 全国 (公立)	H28 全国 平均 との差
4	ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか	94.4	93.8	93.1	94.3	△
5	難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか	72.7	68.4	68.6	69.6	△
6	自分には、よいところがあると思いますか	74.4	67.2	70.0	69.3	○
9	将来の夢や目標を持っていますか	72.4	70.8	67.7	71.1	△
32	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか 【H27 調査なし】	80.7	—	79.8	78.0	○

※全国平均との差 ▲ $\leq -5 < \Delta < 0 \leq \circ < +5 \leq \ominus$

学校質問紙

表 36 「自尊意識等」に関する質問における肯定的回答の割合 (%)

H28 質問 番号	質 問	H26 鈴鹿市	H27 鈴鹿市	H28 鈴鹿市	H28 全国 (公立)	H28 全国 平均 との差
48	前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか	80.0	100	100	97.1	○
53	前年度までに、学校生活の中で、生徒一人一人のよい点や可能性を見付け、生徒に伝えるなど積極的に評価しましたか	90.0	100	100	97.2	○

※全国平均との差 ▲ $\leq -5 < \Delta < 0 \leq \circ < +5 \leq \ominus$

8 規範意識

※肯定的回答の割合が 80%未満か、80%以上であっても全国平均より 5%以上下回るものについて課題が大きいとみなす。

※ 特に課題となる質問項目はない

小学校

児童質問紙

表 37 児童の「規範意識」に関する質問における肯定的回答の割合 (%)

H28 質問 番号	質 問	H26 鈴鹿市	H27 鈴鹿市	H28 鈴鹿市	H28 全国 (公立)	H28 全国 平均 との差
39	学校のきまりを守っていますか	92.4	91.9	90.7	91.5	△
40	友達との約束を守っていますか 【H27 調査なし】	98.4	—	97.8	97.2	○
41	人が困っているときは、進んで助けていますか 【H26, 27 調査なし】	—	—	83.8	84.6	△
42	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	97.4	97.1	96.5	96.6	△
43	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	94.3	94.0	95.0	93.8	○

※全国平均との差 ▲ $\leq -5 < \Delta < 0 \leq \circ < +5 \leq \odot$

中学校

生徒質問紙

表 38 生徒の「規範意識」に関する質問における肯定的回答の割合 (%)

H28 質問 番号	質 問	H26 鈴鹿市	H27 鈴鹿市	H28 鈴鹿市	H28 全国 (公立)	H28 全国 平均 との差
39	学校の規則を守っていますか	95.2	96.1	96.2	94.7	○
40	友達との約束を守っていますか 【H27 調査なし】	97.7	—	97.5	97.2	○
41	人が困っているときは、進んで助けていますか 【H26, 27 調査なし】	—	—	82.6	83.8	△

42	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	94.4	92.5	91.2	93.6	△
43	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	94.6	94.3	91.3	92.8	△

※全国平均との差 ▲ $\leq -5 < \Delta < 0 \leq 0 < +5 \leq \odot$

質問紙調査 課題一覧(小学校)

1 学びの質

(1) 学習状況・指導方法

- ・ 授業の最後に学習内容を振り返る活動を取り入れること
- ・ 授業の最後に学習内容を振り返る活動に対する児童と教師の認識の差
- ・ 課題に対して、自ら考え、自分から取り組むこと
- ・ 習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善や工夫
- ・ 児童自身が伸びを把握できるような評価を行うこと
- ・ 特別支援教育の視点に立った児童の特性に応じた指導上の工夫
- ・ 道徳の時間において、児童自らが考え、話し合う指導

(2) 言語活動

- ・ 友達の前で自分の考えや意見を発表すること
- ・ 学級やグループの中で、課題を立てて、解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの指導
- ・ 学級の友達に対して、話し合う内容を理解して相手の考えを最後まで聞き、自分の考えを伝えること
- ・ 自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表すること
- ・ 400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くこと
- ・ 自分の考えを他の人に説明したり、文章を書いたりすること
- ・ 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすること
- ・ 言語活動の実施状況や課題について、全教職員で話し合い、検討すること

(3) 探究的な学習

- ・ 「総合的な学習の時間」の学習が好きな児童の割合
- ・ 地域や社会で起こっている問題や出来事を学習の題材として取り扱うこと
- ・ 「総合的な学習の時間」における、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導
- ・ 本やインターネットなどを使った資料の調べ方の指導
- ・ 資料を使って発表する指導
- ・ コンピュータ等の情報通信技術を活用して、協働学習や課題発見・解決型の学習を行うこと

(4) 読書活動

- ・ 授業時間以外での読書時間
- ・ 学校図書館や地域の図書館の利用

2 家庭学習

- ・ 休日の家庭学習の時間
- ・ 家で、自分で計画を立てて勉強をすることや、予習・復習をすること
- ・ 家での自学自習で、教科書を使うこと
- ・ 調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えること

3 教員の取組・研修

- ・ H27 年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果を学校全体で活用すること
- ・ 教育課程について、PDCA サイクルを確立すること
- ・ 近隣の中学校と連携すること（教育目標の共有，教員の合同研修や交流，教育課程に関する共通の取組，全国学力・学習状況調査の分析結果の共有）
- ・ 専門性を高める教科や領域等を決めて，校外の授業研究に定期的，継続的に参加すること
- ・ 児童自らが課題設定し，その解決に向けて話し合い，まとめ，表現するなどの学習活動について学ぶ校内研修
- ・ コンピュータ等の情報通信技術を活用して協働学習や課題発見・解決型の学習指導を学ぶ校内研修

4 学校生活

- ・ 学級会などの時間に友達同士で話し合っって学級のきまりなどを決めること
- ・ 話し合う場面で，自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり，折り合いをつけたりして意見をまとめること
- ・ 学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマに取り組ませること

5 基本的な生活習慣，家庭生活

- ・ 1日当たりのテレビやビデオ・DVD を見たり，聞いたりする時間
- ・ 1日当たりのテレビゲーム（コンピュータゲーム，携帯式のゲーム，携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をする時間

6 家族・地域・社会とのつながり

- ・ 今住んでいる地域の行事に参加すること
- ・ 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心をもつこと
- ・ 地域社会などでボランティア活動に参加すること
- ・ 新聞を読むこと

7 自尊意識・将来に関する意識

- ・ 難しいことでも，失敗を恐れなくて挑戦すること
- ・ 自分には，よいところがあると思うことができること
- ・ 将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導

8 規範意識

※特に課題となる質問項目はない

質問紙調査 課題一覧(中学校)

1 学びの質

(1) 学習状況・指導方法

- ・ 授業の最後に学習内容を振り返る活動を取り入れること
- ・ 授業の最後に学習内容を振り返る活動に対する生徒と教師の認識の差
- ・ 授業で扱うノートに、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書くこと
- ・ 課題に対して、自ら考え、自分から取り組むこと
- ・ 先生が授業やテストで間違えたところや理解していないところを分かるまで教えてくれると答える生徒の割合
- ・ 習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善や工夫
- ・ 生徒自身が伸びを把握できるような評価を行うこと
- ・ 道徳の時間において、生徒自らが考え、話し合う指導

(2) 言語活動

- ・ 友達の前で自分の考えや意見を発表すること
- ・ 学級やグループの中で、課題を立てて、解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの指導
- ・ 学級の友達に対して、話し合う内容を理解して相手の考えを最後まで聞き、自分の考えを伝えること
- ・ 自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表すること
- ・ 400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くこと
- ・ 自分の考えを他の人に説明したり、文章を書いたりすること
- ・ 生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすること

(3) 探究的な学習

- ・ 「総合的な学習の時間」の学習が好きな生徒の割合
- ・ 「総合的な学習の時間」の授業で学習したことの有用感
- ・ 地域や社会で起こっている問題や出来事を学習の題材として取り扱うこと
- ・ 「総合的な学習の時間」における、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導
- ・ 本やインターネットなどを使った資料の調べ方の指導
- ・ 図書館資料を活用した授業を計画的に行うこと
- ・ コンピュータ等の情報通信技術を活用して、協働学習や課題発見・解決型の学習を行うこと

(4) 読書活動

- ・ 授業時間以外での読書時間
- ・ 学校図書館や地域の図書館の利用

2 家庭学習

- ・ 平日や休日の家庭学習の時間
- ・ 家で、自分で計画を立てて勉強をすることや、予習・復習をすること

- ・ 家での自学自習で，教科書を使うこと
- ・ 保護者に対する，家庭学習を促す働きかけ

3 教員の取組・研修

- ・ 全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における学力調査の結果と併せて分析し，教育指導の改善や指導計画に反映させること
- ・ 地域等の外部の資源を組み合わせ，指導計画の作成を行うこと
- ・ 近隣の小学校と連携すること（教育目標の共有，教員の交流，教育課程に関する共通の取組，全国学力・学習状況調査の分析結果の共有）
- ・ 教員が，校外の授業研究の場に定期的，継続的に参加すること
- ・ コンピュータ等の情報通信技術を活用して協働学習や課題発見・解決型の学習指導を学ぶ校内研修

4 学校生活

- ・ 好きな授業のある生徒の割合
- ・ 学級会などの時間に友達同士で話し合っって学級のきまりなどを決めること
- ・ 話し合う場面で，自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり，折り合いをつけたりして意見をまとめること

5 基本的な生活習慣，家庭生活

- ・ 1日当たりのテレビやビデオ・DVDを見たり，聞いたりする時間
- ・ 1日当たりのテレビゲーム（コンピュータゲーム，携帯式のゲーム，携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をする時間
- ・ 1日当たりの携帯電話やスマートフォンでの通話やメール，インターネットをする時間

6 家族・地域・社会とのつながり

- ・ 今住んでいる地域の行事に参加すること
- ・ 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心をもつこと
- ・ 地域社会などでボランティア活動に参加すること
- ・ 新聞を読むこと

7 自尊意識・将来に関する意識

- ・ 難しいことでも，失敗を恐れなくて挑戦すること
- ・ 自分には，よいところがあると思うことができること
- ・ 将来の夢や目標を持つこと
- ・ 教員からよいところを認められていると感じる生徒の割合

8 規範意識

※特に課題となる質問項目はない